

【第15回年次大会 研究発表 要旨】

中国の音楽の歌詞に現れるジェンダー  
—中国の紅白歌合戦（春晚）に歌われる歌詞を中心に—

河崎みゆき

中国の学術情報データベースである中国知網（CNKI: China National Knowledge Infrastructure）で、「歌詞」と「性別（ジェンダー）」をキーワードに本文検索すると1280本もの論文がヒットする（2014年4月10日現在）。1980年には1本のみであった研究が1990年7本、2011年151本、2013年234本と2010前後から飛躍的に増えている。そこには「歌詞学」（2007 陸正蘭）、「中国歌詞簡史」（2008 劉以光）などの専門書の出版や、ジェンダー研究の進展との関係が考えられるが、言語学の立場からだけでなく、音楽研究、民俗学、社会学、美学、メディア学、宋詞研究など多くの学問分野から研究がおこなわれ、現代中国大衆文化研究の重要な一部分になっていることがわかる。

中国の流行歌は文革終了後の70年末～80年代初めに息を吹き返し、空白を埋めるように、台湾と香港の歌が流入したため、香港・台湾の歌のジェンダー研究も少なくない。最近では流行歌の中の男女イメージの研究があり、歌詞の中の女性イメージの研究で、張姝芳(2010)は、女性の1. 物化、2. 記号化、3. 理想化、4. 妖魔化があり、男性のイメージでは1. 強い男、2. 女性を操る者、3. 理想化が、また、最近では男性の「イケメン化」、逆に「女性の白馬にのった王子様化（男性化）」があると指摘している。一方、林炳華（2012）は、3つの比較的権威のある中国の歌ランキングから2000～2010年の人気曲89曲に見る男性像を分析し、1. 女性化、2. 挫折した男権主義、3. 新しいよき男性、という3つの男性像があり、そこには社会的・経済的な変化、欧米の美男子や日本や韓国の優男文化の影響があるとしている。

本発表では、中国の国民的年間行事ともいわれ、視聴率が最も高い地域では95%を誇る春節聯歡晚会(略称・春晚)で歌われた歌の歌詞に表れるジェンダーに注目し、その特徴を論じた。春晚を取り上げたのは、1. CNKIの検索でも、春晚の歌詞とジェンダーの関係を論じた研究がないこと、2. 筆者は、以前から超高視聴率を誇るこの番組を「言語資源」の伝播媒体として注目しており、そこで歌われる歌詞に表れるジェンダーは検討に値するものと考えためである。また、この番組が官製のものである以上、先行研究で対象になっている単なるヒット曲とは異なり、選曲の変遷や内容に官の国民全体へのメッセージが隠されていると考えるのも理由の一つである。

春晚は日本の紅白歌合戦とは一部異なり、ほぼ半分が歌曲、半分が漫才・コント、踊りや魔術・雑技などで構成された総合娯楽番組で、除夜の晩（毎年変動する）の夜8時から年越しを跨いで約4時間以上放送される。この番組は1976年の文化大革命の終了後、改革開放の波に乗り出した1983年に第1回が放送されて、2014年で31年の歴史を持つ。

筆者は、1984年から5年ごとに1989、1994、1999、2004、2009、2014年の「春晚」で歌われた歌曲約190曲の歌詞を収集、整理し、分析した。なお京劇などの古典戯曲の歌は原則として除外した。

手順としては、各年のプログラムを収集し、その中で歌われている曲名をネットで一曲一曲、探し出し、歌詞の異同や別の曲ではないかを、全て中央電視台（CCTV） 暦年春節晚会のサイト

に収録された動画で調べた。そこに収録されていない場合は、他のサイトで探し出して、すべての歌詞をチェックし、ネットに歌詞のないものは曲を実際に聴いて書き起こした。最終的に1. 春節の喜び、2. 祖国愛、3. 故郷／幼年時代、4. 民謡・外国歌曲、5. その他、の5つに分類した。数は順に30、43、36、55、26曲であった。そのすべてに対して、ジェンダーという視点から分析を行った結果、1. 恋は民謡、香港・台湾の曲、外国曲でしか語られていない、2. 比喻としての「祖国は母である」、3. 同じく「母はふるさとである」、4. 祖国のために男女の差なく英雄であるべきである、といった春晚の歌の特徴が現れてきた。これは筆者の予想をはるかに超え、整理してみて初めて分かった現代のヒット曲の中の男女像と乖離したジェンダーイメージであった。発表では、歌詞を提示しながら報告を行った。

\*中国においては修士論文も中国知網 (CNKI) などで公開されており、だれでも読むことができます。

[参考文献]

- 陳美絲 (2001) 「香港流行曲歌詞中的女性形象(1985 — 2000)」,暨南大学修士論文  
胡智鋒、張国涛 (2004) 「春節聯歡晚会：“模式”之思」,電視研究第2期  
劉以光 (2008) 『中国歌詞簡史』, 厦門大学出版社  
林炳華 (2012) 「中国当代流行歌曲中的男性形象研究」,重慶大学修士論文  
陸正蘭(2010) 「歌曲文本的性別表意」, 貴州社会科学 第9期  
人民音楽編集部 (1982) 『怎樣鑑別黄色歌曲』,人民音楽出版社  
張姝芳(2010) 「社会性別研究：改革開放三十年内地華語流行音樂」,陝西師範大学修士論文

(かわさき みゆき・上海交通大学日本語学科講師)